

---

# 「介護労働実態調査」の結果報告

(2017.11.10 北海道労働組合総連合・介護対策チーム)

---

## トピック

- ◇ 全産業平均より**13万5千円も低い**
- ◇ 8割以上が**5年たたずに離職**
- ◇ **約半数は「辞めたい」と思っている**
- ◆ **介護報酬の抜本的な引き上げは急務**  
(※利用料負担があがらないよう国の財政措置による)

北海道労働組合総連合・介護対策チームは、介護職員処遇改善加算を活用した「賃上げ」の実現に取り組んできました。各地の介護事業所においてベースアップをはじめとする「賃上げ」の報告が寄せられる一方、加算による「賃上げ」が新加算の平均賃上げ額「一人平均 1 万円」に届いていない状況も見えてきました。

また、賃金・労働条件という調査内容であることをふまえ、事業者と労働者の双方から実態を調査することが重要であると考え、事業者向けの「介護職員処遇改善加算の取得状況等の調査」に加え、個々の労働者のリアルな状況を反映する「介護労働実態調査」に取り組みました。同アンケート結果について、以下のとおり報告します。

### 1. 調査の目的

介護職員処遇改善加算がどのように活用され、その結果として介護現場の労働者にどのように反映されているのかを調査し、介護制度のさらなる改善につなげるため。

### 2. 調査対象

札幌市内の通所介護事業所500件

### 3. 調査方法

調査用紙を郵送・回答はファックス(郵送442件)

札幌白石区内の事業所については直接訪問(58件)

調査期間は 2017 年 8 月 2 日～21 日

### 4. 回収数

全体127件、うち介護職86件

## 5. 特徴点

- ① 回答のあった介護職86名のうち、約8割が女性、40歳以上が6割を占めている。
- ② 勤続は3年未満が55.8%と半数を超え、5年未満が84.9%であった。「長く働き続けることができない」状況であることが推察される。
- ③ 雇用形態は、正社員が57%にとどまっている。
- ④ 5月分賃金の平均額は16万2500円であった。全産業平均(29万7545円)より約13万5千円も低い水準である。道労連が2014年に行ったアンケート調査結果(介護職平均賃金19万4800円)との比較でも、3万2300円低い水準である。また、北海道における大卒初任給平均額19万4100円より、3万1600円低い水準である。
- ⑤ 時間給の平均額は884円と全産業平均1,028円(きまって支給する給与を所定内労働時間で割り返して算出)より144円低い水準である。また、道内ハローワークにおける求人賃金の全職業平均は896円(2107年5月時点)、ホームヘルパー・ケアワーカーの平均求人賃金は915円であり、いずれも下回る水準である。
- ⑥ 現在の仕事について「やりがいのある仕事だと思う」が74.4%と7割以上が応えている一方で、仕事をやめたいと思うかの問いには「いつも思う」「ときどき思う」をあわせると48.8%と約半数が辞めたいと思っていることが明らかとなった。

その理由は、「仕事が忙しすぎる」「賃金が安い」「体力が続かない」の3項目が上位を占めている。低賃金かつ過重労働のため離職率が高く、求人を出しても人が集まらず常に人手不足となる悪循環が改善されていない。
- ⑦ 政府は「アベノミクスで雇用は改善された」と主張するが、これは偽りである。ホームヘルパー・ケアワーカーの有効求人倍率(2017年5月時点)は2.52倍であり、介護業界(など特定の産業)における慢性的な人手不足が求人倍率全体(1.01)を底上げする統計上のからくりがある。ちなみに、前回調査時(2014年2月)のホームヘルパー・ケアワーカーの有効求人倍率は1.56倍であったことをふまえると、人手不足は改善されるどころかますます悪化していると言わざるを得ない。

### 【小活】

「やりがい」という点を除けば、現在の介護業界に労働者を留めておける、あるいは担い手を増やしていくための環境は極めて乏しい。社会的にこれほど重要な産業・役割であるにもかかわらず、賃金は「大卒初任給以下」の水準に据え置かれたままであり、道労働局によれば68%の事業所で「違法行為」があり是正勧告を行っている。外国人労働者を「安価な労働力」として雇用する安易な施策ではなく、利用料負担があがらないように国の財政措置による介護報酬の抜本的な引き上げ等を柱とする賃金・労働条件の改善は急務であり、政治の責任で行うべきである。

以上

## 「介護労働実態調査」の分析

2017/11/8

全集計			
基礎項目		集計数	%
A. 性別	1 男性	19	22.1
	2 女性	67	77.9
B. 職種 (複数選択可)	1 介護職	86	78.9
	2 ケアマネ	1	0.9
	3 リハビリ	2	1.8
	4 生活相談員	15	13.8
	5 看護職	1	0.9
	6 事務	2	1.8
	7 その他	2	1.8
C. 年齢	1 20歳未満	0	0.0
	2 20～25歳未満	5	5.8
	3 25～30歳未満	6	7.0
	4 30～35歳未満	15	17.4
	5 35～40歳未満	6	7.0
	6 40～45歳未満	18	20.9
	7 45～50歳未満	11	12.8
	8 50～55歳未満	8	9.3
	9 55～60歳未満	6	7.0
	10 60代以上	11	12.8
D. 勤続年数	1 1年未満	14	16.3
	2 1～3年未満	34	39.5
	3 3～5年未満	25	29.1
	4 5～10年未満	9	10.5
	5 10～15年未満	3	3.5
	6 15～20年未満	1	1.2
	7 20年以上	0	0.0
E. 雇用形態	1 正職員	49	57.0
	2 臨時・パート (フルタイム)	11	12.8
	3 臨時・パート (短時間)	16	18.6
	4 下請・派遣	0	0.0
	5 嘱託・雇用継続	7	8.1
	6 その他	3	3.5
F. 職場	1 特別養護老人ホーム	0	0.0
	2 介護老人保健施設	0	0.0
	3 介護型療養病床	0	0.0
	4 短期入所生活介護施設	0	0.0
	5 短期入所療養介護施設	0	0.0
	6 小規模多機能型、居宅介護施設 (複合型を含む)	0	0.0
	7 グループホーム	0	0.0
	8 ケアハウス・養護老人ホーム	0	0.0
	9 通所リハビリ	5	5.8
	10 通所介護	78	90.7
	11 高齢者住宅	2	2.3
	12 民間老人ホーム	0	0.0
	13 その他	1	1.2
G. 勤務形態	1 日勤のみ	84	97.7
	2 日勤と当直	0	0.0
	3 日勤と夜勤 (3交替)	0	0.0
	4 日勤と夜勤 (2交替)	2	2.3
	5 夜勤専門	0	0.0
	6 その他	0	0.0

調査項目		集計数	%
問1 毎月決 まって支 払われる	5月分賃金の平均額	162.5	(千円)
	5月分賃金の最高額	285	(千円)
	5月分賃金の最低額	20	(千円)
	時間給の平均額	884	(円)
	時間給の最高額	1,000	(円)
	時間給の最低額	790	(円)
問2 健康状態	1 健康である	65	75.6
	2 健康に不安	21	24.4
	3 病気がちで健康とはいえない	0	0.0
問3 体調で当 てはまる 症状 (全 て選択)	1 腰痛	28	32.6
	2 関節痛	12	14.0
	3 筋肉痛	0	0.0
	4 肩こり	34	39.5
	5 更年期障害	12	14.0
	6 抑うつ感	2	2.3
	7 アルコール依存	0	0.0
	8 頭痛	14	16.3
	9 倦怠感	13	15.1
	10 イライラ感	10	11.6
	11 不眠症	2	2.3
	12 その他	4	4.7
問4 今の仕事 は	1 やりがいのある仕事だと思う	64	74.4
	2 そうは思わない	4	4.7
	3 わからない	17	19.8
問5 仕事をや めたい	1 いつも思う	2	2.3
	2 ときどき思う	40	46.5
	3 思わない	30	34.9
	4 わからない	13	15.1
問6 問5で1、 2と答えた 場合 3 つまで選 択	1 仕事の達成感・やりがいを感じられない	4	4.7
	2 仕事が忙しすぎる	16	18.6
	3 夜勤がつらい	0	0.0
	4 休暇が取れない	6	7.0
	5 賃金が安い	13	15.1
	6 出世できない	0	0.0
	7 病気がち、健康不安	1	1.2
	8 体力が続かない	14	16.3
	9 人間関係が良くない	6	7.0
	10 上司と合わない	1	1.2
	11 利用者・家族との関係が良くない	0	0.0
	12 家族に負担をかけているから	6	7.0
	13 結婚できないから	1	1.2
	14 子どもがほしいから	1	1.2
	15 家族の介護のため	0	0.0
	16 社会的に評価が低いから	1	1.2
	17 その他	3	3.5

## 【自由記載欄のコメント】

1	単価減少でトータルベースダウン、残業増加。加算の関係で仕事増加。園送迎等で休暇や休憩時間をとるのが難しい(人員が足りていない)。単価が低いため、人員を増やせない。
2	人手不足のため、職員それぞれが忙しく、利用者が大きなケガがないのが不思議なくらい。休む事もできず(有給)正規の休みしか取れない。パートさんは有休を使わせてくれない状況です。精神的な負担も大きい。
3	車輛台数が減って、負担が大きくなったが待遇は変わらない。これから冬に向けて、送迎が間に合わなくなる不安がある。
4	私の事業所は、最少の人数で運営しているため、休みたいと思っても気兼ねしてしまいがちです。家に帰れば主婦であるので、時に両立するのに辛い思う時もあります。主人がしっかりと働いているので、つい辞めてもいいかなと思ってしまうのです。通所介護は、1日ずうと利用者さんと向き合います。レクリエーションの準備などは家に持ち帰って行わなければいけないことが多々あり、負担感があります。高齢者の方達には穏やかな老後をご家族には負担軽減を願って賃金が安くても、世の中のためになっいるとの思いで続けてきました。介護財源が不足している今日、人もお金も有効に使って頂きたいと思っておりますが、特に具合が悪いわけでもない利用者さんにダラダラと大量の薬、湿布を出している病院、介護認定調査員にウソをついて介護度を上げようとする利用者、家族には腹立たしい思いです。
5	介護報酬が減額し、ますますサービスの向上が難しい。人材確保も今後難しくなる。役職のある人間はその辺も含めて運営を任されるが、国の方針が厳し過ぎて未来が暗い。
6	書類が多すぎる。無駄が多い。その分を利用者のために活かせる。職場は楽しい。
7	例えばですが、介護福祉士の資格を取得しても、どんなに努力したとしても、子どもがいて家庭を持って、仕事もしてという条件で受験をしても、世間、社会、一般的にその資格に対する認知度がまだ低く思います。理学療法士や看護師、ケアマネージャーなら「すごい」のに、介護福祉士は「へえ」くらいかと。介護の職場や仲間内では、努力を分かっているためお祝いをするほどすごい資格です。お金も自費で実務者研修を受け、受験料を払いやっています。介護の仕事は私の職場ではとても楽しく遣り甲斐も達成感もとてもあります。しかし、他の職場では、派閥やいじめも聞いています。体力もとてもきつく、全く興味のない人には誰でもやれる仕事だと思われています。賃金も差が大きく出ています。その分仕事がハードなのかもしれませんが!!職場全体では体力がきつく、マッサージを受けながら、あとは半日休み、腰痛を押してまで出勤して無理をしている者もいます。人手が足りないと責任感のある職員はどんどん倒れていきます。利用者様と楽しんでいただくための準備もあります。時間がないと忙しくなり、1人1人の負担が増え体力がなくなり離職者も増え、次第に介護職への意欲もなくなり担い手がなくなることも考えられます。これからは介護職員へのレベルアップの指導となる何かが必要で、他の仕事との差がないように賃金面と仕事面との比率を考える時代なのかなと思います。また、介護職についてくれ選んでくれたことだけでもすごい人だと思っています。それほど大変な仕事を選んでいるのです。職員社員を大切にしてくれる職場でないと、続かないと思います。働き方もいろいろと時間を分けるなどし、働きやすい職場作りをしていくことからでしょうか？(60代・女性・介護職)

# 介護労働実態調査

この調査は、介護現場の労働実態を把握し、「介護職員ふやせ」「働き続けられる介護職場づくり」の運動とともに、利用者処遇の改善に役立てていくためのものです。みなさんのご協力をお願いします。

記入例 

1
---

 はい 

2
---

 いいえ

●事業所名(可能であればご記入ください)

--

## 基礎項目

### A. あなたの性別は

1 男性	2 女性
------	------

### B. あなたの職種は\* 兼務の場合は、複数選択可

1 介護職	2 ケアマネ
3 リハビリ職(療法士)	4 生活相談員
5 看護職	6 事務
7 その他( )	

### C. あなたの年齢はどれに当てはまりますか

1 20歳未満	2 20～25歳未満
3 25～30歳未満	4 30～35歳未満
5 35～40歳未満	6 40～45歳未満
7 45～50歳未満	8 50～55歳未満
9 55～60歳未満	10 60代以上

### D. 現在の施設・事業所での勤続年数はどれくらいですか

1 1年未満	2 1～3年未満
3 3～5年未満	4 5～10年未満
5 10～15年未満	6 15～20年未満
7 20年以上	

### E. あなたの雇用形態はなんですか

1 正職員	2 臨時・パート職員(フルタイム)
3 臨時・パート職員(短時間)	4 下請・派遣関係
5 嘱託・雇用継続	6 その他( )

### F. あなたの職場はどこですか

1 特別養護老人ホーム	2 介護老人保健施設
3 介護型療養病床	4 短期入所生活介護施設
5 短期入所療養介護施設	6 小規模多機能型、居宅介護施設(複合型を含む)
7 グループホーム	8 ケアハウス・養護老人ホーム
9 通所リハビリ	10 通所介護
11 高齢者住宅	12 民間老人ホーム
13 その他( )	

### G. あなたの通常の勤務形態は

1 日勤のみ	2 日勤と当直
3 日勤と夜勤(3交替)	4 日勤と夜勤(2交替)
5 夜勤専門	6 その他( )

## 調査項目

問1. あなたの毎月決まって支払われる賃金はいくらですか

\* 17年5月分、基本給や諸手当(職能手当や資格手当、家族、住宅手当ほか)などの毎月定まって支払われる賃金の総額。

\* 早出、宿直、夜勤、休日、時間外手当など月によって変動する賃金を含みません。(1000円単位で四捨五入)

5月分の賃金 

--

 万 

--

 千円

\* 時給の方は時間給も記入してください

時間給 

--	--	--	--

 円

問2. あなたの今の健康状態はどうですか

1 健康である	2 健康に不安
3 病気がちで健康とはいえない	

問3. 現在の体調について当てはまる症状があるものを全て選んで下さい

1 腰痛	2 関節痛
3 筋肉痛	4 肩こり
5 更年期障害	6 抑うつ感
7 アルコール依存	8 頭痛
9 倦怠感	10 イライラ感
11 不眠症	12 その他( )

問4. 今の仕事はやりがいがある仕事だと思いますか

1 やりがいのある仕事だと思う		
2 そうは思わない	3 わからない	

問5. あなたは「仕事をやめたい」と思うことがありますか

1 いつも思う	2 ときどき思う	
3 思わない	4 わからない	

裏面もありますので、ご協力ください。

問6. 問5で「1 いつも思う」「2 ときどき思う」と答えた方は、その理由を3つまで選んで下さい

1	仕事の達成感・やりがいを感じられない		
2	仕事が忙しすぎる	3	夜勤が辛い
4	休暇が取れない	5	賃金が安い
6	出世できない	7	病気がち、健康不安
8	体力が続かない	9	人間関係が良くない
10	上司と合わない		
11	利用者・家族との関係が良くない		
12	家族に負担をかけているから		
13	結婚できないから	14	子どもがほしいから
15	家族の介護のため	16	社会的に評価が低いから
17	その他( )		

【自由記載欄】 ※ご意見や実態など

よろしければ、ご連絡先をお書きください。労働組合や介護に関するニュース・情報を提供致します。

【氏名】 \_\_\_\_\_ / 【事業所名】 \_\_\_\_\_

【電話】 \_\_\_\_\_ / 【メール】 \_\_\_\_\_

ご協力いただき、ありがとうございました。

【取扱い】道労連介護対策チーム(北海道労働組合総連合) 札幌市白石区菊水5条1丁目4-5

Tel:011-815-8181 / Fax:011-815-4545 / kaigo@dororen.gr.jp